

子どもたち一人ひとりへの きめ細かな指導を目指して

ことし3月28日、荒井清教育委員長から、50人に辞令が手渡されました。今年度、市が採用した少人数学習推進教員と健康推進教員の辞令交付式です。

市では、4年目を迎えた「個性を生かす教育推進事業」を拡充するため、少人数学習推進教員と健康推進教員を大幅に増員しました。これにより子どもたちへの教育がどのように変わったのでしょうか。



今後の活躍に期待を込めて

楽しい授業・わかる授業の実現のために

少人数学習推進教員は、児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行うため、学級担任や教科担任と一緒に、クラスを二つに分けて授業を行う少人数学習や、一つのクラスに二人の教員が入り授業を行うＴＴ（ティーム・ティーチング）を行います。少人数学習推進教員は、昨年度の27人から、今年度は42人に増えました。

これにより、基本教科（国・数・理・英）の一部で、少人数指導・習熟度別指導の実施が可能になり、「楽しい授業・わかる授業」の実現を目指しています。

また、児童・生徒の実態などに応じて、発展的な学習・補充的な学習などを実施することもできるよつになりました。

さらに、総合的な学習の時間の

問題解決学習場面や、さまざまな体験的活動を行ううえでも人的な支援・援助ができるため、より充実した児童・生徒の活動が展開可能となりました。

保健室を「心の居場所」に

健康推進教員は、保健室の養護教諭とともに児童・生徒を心身両

わかる授業を目指し さまざまな授業形態を工夫

今、学校では

少人数の場面では



少人数の学習集団となることで、集中して取り組める、一人ひとりの活躍場面が多くなる、児童・生徒のつまずきに素早く対応できるなどの教育効果が上がっています。

ＴＴの場面では



複数の教員が授業にかかわることで、児童・生徒によりきめ細かに対応できます。また、教師の役割を分担・交代したり、共に演じたりすることで、個別や小グループに対してもきめ細かな支援が可能です。



児童と一緒に保健委員会の活動も

面から支援します。健康推進教員は、昨年度の3人から8人に増え、児童・生徒数が多い学校を中心に配置されました。

これにより、児童・生徒の心身のさらなるケアに努め、さまざまな悩みを抱えて生活している児童・生徒に対し、「心の居場所」としての保健室の機能をより高めていくことを目指しています。

市では、50人の推進教員の若い力を市内の小・中学校に配置し、「確かな学力」や「豊かな心」の育成を目指し、児童・生徒の学校生活がより充実したものになるよう、手厚い支援をしています。

本号では、活躍が期待される推進教員と、配置された学校現場での声を聞いてみました。



ALTも加わり3人で進められる英語の授業

少人数学習推進教員 (小学校)

4年生の副担任として、算数・理科・図工・総合・体育の授業をTTや少人数で行っています。10人前後のグループだと、全員の子どもに目を向けられますし、苦手な子どもにも多めに時間をとって支援できることが利点です。子どもたちが、理解できたときに見せる満足の笑顔は、とても輝いています。これから、子どもたちが“45分の授業があつという間だった”と感じるような授業をしていきたいと思ひます。



向台小学校
福田将志先生

少人数学習推進教員 (中学校)



成田中学校
濱田恵先生

主に2・3年生の英語を教えています。授業だけでなく、生活面でも部活動や行事などを通して、多くの生徒と触れ合えるので、とてもやりがいを感じています。少しでも“英語が好き”と言ってくれる生徒が増えるように、一人ひとりの能力を引き出すお手伝いをしていきたいと思ひます。

少人数学習推進教員は、生徒たちに実際の英語コミュニケーションの場面を見せてあげられたり、一人ひとりと話す機会が増やせたりと、とても有意義なプログラムです。生徒に教えられることも多いですが、これから、教員としての知識を深めるだけでなく、いろいろなことにはチャレンジして自分の“引き出し”を増やしていきたいと思ひます。



成田中学校
佐野由美子先生

濱田先生は、産休補助教員の経験から生徒たちとの接し方や教科指導が上手ですし、佐野先生はイギリスに留学していたので、生きた英語に関する知識が豊富ですね。推進教員の配置で、アドバイスや質問への回答など、生徒一人ひとりに指導する機会が増えました。生徒たちも意欲的に授業を受けていると思ひます。

今後も、生徒の個別指導が多くできるようTTなどに取り組んでいきたいと思ひます。



成田中学校・英語科主任
野地正一先生



向台小学校校長
香取成章先生

福田先生は、明るく、子ども思いのスポーツマンですね。得意の野球などをしてよく遊んでいるので、子どもたちもとてもなついています。また、常に、先輩教員から多くのことを学び、吸収しようという姿勢もみられます。

福田先生が配置されて、子どもたちがねばり強く学習に取り組むようになったり、自信をもって学習に臨むようになったりするなどの変化がみられます。子どもたちへの支援の仕方など、さらに先輩教員から学び、より自信をもって子どもたちと接することができるようになってほしいですね。



少人数学習では、一人ひとりに丁寧な指導ができる

健康推進教員

荻原先生には、ぼくが転んでひざをすりむいたときに、けがの手当てをしてもらいました。ぼくの話をよく聞いてくれるし、やさしいので大好きな先生です。



平成小学校3年
林田憲俊くん

若くて年齢も近いので、先生というより“きれいなお姉さん”って感じかな。荻原先生がいると、保健室も入りやすいです。

養護教諭を目指して勉強中です。初めての学校現場で、戸惑うことも多いですが、毎日充実した学校生活を送っています。

子どもたちは、善くもあしくも素直です。自分たちが気の進まないことは、しっかり指示しないと行動に移ってくれませんが、好きなことや興味のあることには、こちらが驚かされるくらいの力を発揮し、がんばりを見せてくれます。今、子どものちょっとした変化に気付く目と、しっかり向き合って話を聴く姿勢が大切だと実感しています。保健室を訪れる子どもたちが抱えている問題を、解決につなげられるようなアドバイス・行動ができれば、と思っています。



平成小学校
荻原沙織先生

個性を生かす教育推進事業についてくわしくは学務課(☎20-1581)へ。